

^{アポジー ボーイズ} 1 Apogee Boys	
参加するきっかけ、動機など	楠隼高校宇宙部は毎年缶サット部門に挑戦してきたが、今回は初めてロケット部門に挑戦する。新しい世界で自分たちの技術を試し、部の名を全国に轟かせるため、この大会への出場を決意した。
大会への意気込み、目標など	宇宙部で培った技術力を駆使し、優勝を勝ち取るのみ！
チームPR	私たち楠隼高校宇宙部は、チーム名が示すApogee(最高到達点)を常に目指し、仲間とともに挑戦を続けている。初挑戦のロケット部門でもその精神を貫き、全力で成果を掴みにいく！

^{チーム イケダ} 2 チームIKEDA	
参加するきっかけ、動機など	学校の先生より宇宙甲子園の紹介があり、興味を持ちました。夏休みにワークショップに参加しA型モデルロケットの発射を体験してとても楽しかったので宇宙甲子園へ参加することにしました。
大会への意気込み、目標など	今回は、事前打ち上げなしで大会に臨みます。シミュレーションをしっかりと行い丁寧に正確にロケットを作製します。当日は、自分たちの力でロケットを発射させ審査基準に近い高度・滞空時間を記録したいです。
チームPR	池田中学では日頃より、SCP(Science Communication Program)というプログラムのもと、グループではロケット工学について学び、鹿児島大学の先生にもお越しいただき、グループでディスカッションしながら、協力して探究課題に取り組む活動をしています。今回のロケット発射は、今までのこうした活動経験を活かし、各メンバーの得意分野の力を出し合い、協力して活動しています。

ウチュウショウネンダン カゴシマブンダン 3 宇宙少年団鹿児島分団	
参加するきっかけ、動機など	宇宙少年団には宇宙や科学に興味がある人たちが集まっています。団長から今年の宇宙甲子園の紹介がされたことがきっかけです。
大会への意気込み、目標など	液体窒素や花火制作、水ロケットや火薬ロケットの打ち上げなど、これまでの経験を活かして安全で正確な打ち上げを目指し、世界大会を目指します。
チームPR	宇宙少年団鹿児島分団の中高生4人で結成したチームです。学年も学校も違う、個性豊かなメンバーですが、みんなで協力して甲子園に向けて活動してきました。普段の活動では、毎月第3日曜日に科学館で宇宙や科学の学習、工作、実験を行っています。また、水ロケットやモデルロケットの制作・打上げも毎年実施しています。

ブルー スペース 4 藍色空間	
参加するきっかけ、動機など	普段は、中学校の部活動として、モデルロケットの制作・打ち上げも行っています。大会は機会・経験人数ともに少なかったのですが、顧問の先生が鹿児島で行われる大会を見つけてくださり、参加することを決めました。
大会への意気込み、目標など	いろいろな学校の生徒とモデルロケットで競い合える機会は滅多にないので楽しみです。また、その中でも特に、我々の先輩であり、憧れであり、目標でもある楠隼高校宇宙部の方々に勝てるように頑張りたいです。
チームPR	楠隼中学校宇宙技術部の部長・副部長を始めとした、部の中核を担う中学3年生で構成されたチームです。モデルロケット協会主催のロケット甲子園に出場した経験のあるメンバーもあり、少なくとも技術面では部内でも一番だと思っています。好きなことにはとことんのめりこむ人たちの集まりでそれぞれマイペースなので、時間に追われることも多いですが、大会でいい結果を残せるよう、協力し合って頑張っていきたいと思います。

5 ウラヌス ウラヌス	
参加するきっかけ、動機など	今まで中学宇宙技術部で学年や入部した時期は違えどみんなで磨いてきたロケットを作る技術や感覚をこの大会に出ることで一つの完成度の高い最高のロケットを作り上げ結果を残し形に残すことができればよいなと思ったからです。
大会への意気込み、目標など	もちろん全国大会出場です。そのためにシミュレーションや学校での実際の打ち上げを通して目標高度・滞空時間にできるだけ近づけるようにチーム全員で正確にロケットのパーツを作って悔いのない結果を出せるように頑張ります。
チームPR	中学3年生が1人、2年生が1人、1年生が3人といった多少経験が浅いところがあるチームですがやる気と元気だけならどのチームにも負けていない自信があります。すごい技術力や感覚は少ないですが、ロケットにやる気と元気を注ぐことで地道な作業の積み重ねを繰り返し時間をかけながらも正確にロケットを作り目標高度・滞空時間に近づけることができるように、一所懸命、一心不乱に、一球入魂で、一致団結して、頑張っていきたいと思います！

6 ドセイサン どせいさん	
参加するきっかけ、動機など	今回の大会は顧問の先生からお誘いを頂きました。動機としては、今回の大会を通して、我々のモデルロケットの技術に自信を持つとともに、楠隼中学校宇宙技術部の部活生として、我が部の名前や活動をより多くの方々に知っていただきたいと思ったからです。
大会への意気込み、目標など	今回の大会で、たくさんの先輩たちに教えられ培った技術を発揮し、大会を悔いなく全力で楽しみたいです。そして、勝っても負けても、この大会の結果を糧にして前進し続けていきたいです！
チームPR	我々には、応用力と粘り強さがあります。我々は、月に一度、モデルロケットの打ち上げをしています。その際に、自分の機体の問題点とその解決策を考え、技術を高めてきました。また、先輩方の機体の工夫を教えてもらい、課題を解決しました。どうしても解決できなかった問題にも諦めずに試行錯誤し、壁を乗り越えてきました。今回の大会でも、たくさんの方々のロケットを分析し、今後につなげていきたいです。

7 フツリセンタク 物理選択	
参加するきっかけ、動機など	ポスターを見て挑戦しようと思いました。私たちが通う楠隼高校には、宇宙学という少し変わったカリキュラムがあります。そこで私たちは、宇宙について、ロケットについて、様々なことを学んできました。中学を含め、5年間学んできたことを活かす機会にしたいと思い、参加を決意しました。
大会への意気込み、目標など	はじめは知識も技術も経験も全くない私たちのチームでしたが、地道に試作と実験を繰り返し、今ではどこにも負けない自信を持っています。何度も失敗を重ねて得られた経験を、私たちだけの特別な強みに昇華できるよう、日々改良と検証に取り組み、次第に目標に近づけることができました。これまでの集大成として、最高の打ち上げができるように頑張りたいです。
チームPR	私たち物理選択チームは、高校で物理を選択した生徒が集まりました。全員が運動部に所属しており、集まって機体制作に専念する時間は多くありませんでしたが、それぞれが時間を見つけて制作に必死に取り組み、最高の機体に仕上げることができました。専門的な知識などはまだまだ足りない私たちですが、モデルロケットに懸ける情熱と本気で取り組む姿勢は誰にも負けていません。全力で取り組む私たちの思いが空まで届くような打ち上げにしたいと思いますので、よろしければ応援をよろしくお願いします。

8 スカイブレーカー 蒼天破天者	
参加するきっかけ、動機など	日頃から宇宙や航空に興味関心があり、モデルロケットを飛ばしてみても、とても面白く今回の宇宙甲子園に参加するきっかけとなりました。
大会への意気込み、目標など	機体が安定して目標高度に到達できるように、重量配分に細心の注意を払って大会でベストな打ち上げとなるように頑張りたいです。
チームPR	甲南高校の一年生のみで結成したチームです。5人の様々な力を結集して、航空力学と機械工学の二つの力を用いてロケットを仕上げました。特にパラシュートと搭載するバランスを工夫して、空力的にも有利な機体の開発に取り組みました。初参加となりますが、チーム一丸となって優勝を目指します。